

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 < 特別の教科 道徳(道徳) >

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『教材一覧表』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【その子の世界、私の世界】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【自分の学びをふり返ろう】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『いじめから目をそむけない』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルと友達との関わりについて扱った内容が『合格通知』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【自分を変えるカー・桃田賢斗】に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p><< 教科・種目共通の観点 >></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自分の経験をもとに考え、グループで話し合い、学習を振り返る学びの流れが『学習の流れ』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ぼくらの村の未来』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自らが問いを立て、対話し、学びを振り返る学習活動が【好きな仕事か安定かなやんでいる】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である花火や灯ろう流しが『花火と灯ろう流し』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、アンガーマネジメントの方法を、その場面を想定して考える学習活動が【怒りの感情との付き合い方】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『橋の上のおおかみ』に、キャリア教育につながる教材が『たんぼぼ作業所』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報機器活用のルールやマナーについて考える学習活動が【スマホに夢中！】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や絵で表された内容が『私の好きなもの』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【忘れられる権利】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><< 各教科・種目別の観点 >> (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、自分の気持ちを心情円を用いて表現する学習活動が【左手でつかんだ音楽】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、互いに相手のことを認めるためにどうすればよいかを考える学習活動が【外国から来た転校生】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、内容の一場面を劇で演じる学習活動が【缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 < 特別の教科 道徳(道徳) >

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学道徳 とびだそう未来へ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『学びの道しるべ』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が『変わりゆく地球』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が『道徳科の学びを振り返ろう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルや個人の権利について考える内容が『自分の思い・相手の思い』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が『カーテンの向こう』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題に気づき、考え、話し合い、自分の生活に生かしていくという学習の流れが『さあ、道徳を始めよう!』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『難民とともに～緒方貞子～』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、教材を読み、考えたことを友達と話し合い、自己を振り返る学習活動が『父のひと言』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である盆栽が『世界に誇る「BONSAI」』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、友だちのよいところを見つける取組を通して、コミュニケーションの仕方を考える学習活動が『信頼関係を築こう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『「金のおの」その後』に、キャリア教育につながる教材が『昨日より今日、今日よりも明日』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報機器を使用する際のルールやマナーについて考える学習活動が『歩きスマホをどうするか』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が『心のアンテナ』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『もう一つの時間』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が『学びの道しるべ』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、登場人物の気持ちや立場など異なる視点に立って多面的・多角的に考える学習活動が『二通の手紙』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を演技して考える学習活動が『校長先生の模擬面接』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪特別の教科 道徳(道徳)≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	光村	書名	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマに沿ったユニットに分けられた教材や学びの順序が『道徳道案内』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【なんだろうなんだろう 「自立」って、なんだろう。】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『三年目の「ごめんね」』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が『インターネットの中の社会で』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【足袋の季節】に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、友達と話し合い、学んだことと自分の生き方を結びつける学習の流れが『道徳の学習を始めよう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連した教材が『サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である障子あかりが『障子あかり』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、経験してきたことをもとに、よりよい学校生活を過ごすために多面的・多角的に考える学習活動が【私たちの合唱祭】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『手品師』に、キャリア教育につながる教材が『働く姿から見えるのは?』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、スマートフォンやSNSの使い方について考える学習活動が【インターネットの中の社会で】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が『アイツとオレ』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【自然災害と向き合う】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、別の立場から考えることや授業で学んだことをつなげる学習活動が【見方を変えて】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に違いについて考える学習活動が【あってはならない違い】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、場面を想定し役割演技をして、考える学習活動が【ジコチュウ】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『本文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学道徳 あすを生きる
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えてみよう』に、内容項目と各教材の対応や学びのキーワードが『内容項目別教材一覧』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【道徳科で学んだことを振り返ってみよう】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が『いじめのない社会へ』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、議論し、学んだことと自分の生き方を見つめる学習の流れが『どうやって学ぶの?』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『本とペンで世界を変えよう』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、気付き、考え、議論して、自分を見つめる授業の流れを知る学習活動が【ミニ教材で考えてみよう ある和菓子店】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である江戸切子が『使い手を驚かせて魅了する』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、信号機のない横断歩道についての実態調査を用いて、多面的・多角的に考える学習活動が【キラールゼブラと呼ばれて】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科での学びを始めよう!』に、キャリア教育につながる教材が『行動する建築家 坂 茂』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、インターネットでの著作権や使い方について考える学習活動が【視野を広げて AIと情報社会】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、登場人物の写真やイラストが『違うんだよ、健司』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【失った笑顔を取り戻す】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【自分にプラスワン】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる視点や立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が【臓器提供】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、ペアやグループで演じて感じたことを伝え合う学習活動が【電車の中で】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 < 特別の教科 道徳(道徳) >

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	学研	書名	新版 中学生の道徳 明日への扉
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『よりよく生きるための22の鍵』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを通して、心に残った言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が『アップロードダウンロード』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【二人の弟子】に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、道徳科で学ぶことや考えを深める段階が『考えを深める4つのステップ』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips細胞を求めて 山中伸弥』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、教材を読んで見つけたこと、考えたことをもとに話し合う学習活動が【深めよう 限られた命について考えよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化であるねぶたが『ねぶたを夢見て』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、目標を達成するために必要なことを書き、自分の将来について考える学習活動が【夢の地図を書いてみよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科で学ぶこと 考えること』に、キャリア教育につながる教材が『「血の通った義足」を作りたい』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、SNSやスマートフォンの使い方について考える学習活動が【○○流デジタルライフ】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画やイラストで表された内容が『電車の中で』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【白川郷に魅せられて】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、教材と出会い、考え、話し合い、自分の生き方につなげる学習活動が【深めよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が【礼儀って】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の立場になって考える学習活動が【異なる意見と出合ったときのことを考えよう】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料 II (道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	あか図	書名	中学生の道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『自分を見つめて考える』に、内容項目と教材、現代的な課題等との関わりが『内容一覧』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【ベビーカー論争】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【学習の記録】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『君たちはどう考え、どう生きるか』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、SNSの使い方と他者との関わりについて扱った内容が『ピヨ子』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【足袋の季節】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自分を見つめて、異なる見方で考え、生き方を考える授業の流れが『道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ドナー』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの際の視点を整理して話し合う学習活動が【マイ・プラス 白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である姫路城の再建が『運命の木ー姫路城の大柱』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、挨拶にはどのような思いが込められ、なぜ社会生活で大切なのかを考える学習活動が【挨拶から礼儀を考えよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方や考えの例が『一年生のあなたへ』に、キャリア教育につながる教材が『小浜のさば缶、宇宙へ行く』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が【リアルとネットの不思議】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が『挨拶のちから』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【千年先のふるさとへー宮城県女川町】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【自分を見つめて考える】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、意見が違う他者と対立を乗り越えて問題を解決していく学習活動が【意見の対立について話し合ってみよう】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の気持ちを考える学習活動が【二人のすれ違いについて考えてみよう】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『教科書の本文などには、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 < 特別の教科 道徳(道徳) >

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	日科	書名	道徳 中学校3 生き方を創造する
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマごとのユニットに分けられた教材の一覧が『さまざまなテーマから考えを深めよう』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【古今東西「愛」放談】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『彼と私のありがとう』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、SNSの使い方を多面的・多角的に考える内容が『SNSでの誹謗中傷』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【くちなしの花と、南十字星が指した道 ～花田ミキ～】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p><< 教科・種目共通の観点 >></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、違う考えや意見も認め学んでいく授業の流れが『クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『気候変動で私たちができること』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が【領民を幸福にすることこそ】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である琵琶の修復が『筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自分の経験をもとにウェルビーイングについて考える学習活動が【「わたしたち」としてウェルビーイングをつくりあう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方の例が『クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう』に、キャリア教育につながる教材が『人はなぜ仕事をするのか』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が【Flower Bus Stop】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が『問題を解決するために必要なこと』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【稲村さんの苦悩】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><< 各教科・種目別の観点 >> (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【考えよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場からの意見を尊重し、違いを認め合うことについて考える学習活動が【放っておけばいい ～淳の住む町～】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、主人公の気持ちをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が【ナイスジャンプ】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『多くの人が使いやすいように、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやレイアウトなどに配慮して作成しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【避難所で私たちができること】や【おたがいの「ちがひ」を認め合おう】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『学びの道しるべ』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【暮らしの中のSDGs】や【アラスカを見つめ続けて】に設定されている。
光村	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマに沿ったユニットに分けられた教材や学びの順序が『道徳道案内』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【「生物多様性」を知ろう】や【自然災害と向き合う】に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えてみよう』に、内容項目と各教材の対応や学びのキーワードが『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【人権課題への取り組み】や【地球の資源と持続可能な社会】に設定されている。
学研	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『よりよく生きるための22の鍵』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【沈黙の海】や【多様な性と私たち】に設定されている。
あか図	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『自分を見つめて考える』に、内容項目と教材、現代的な課題等との関わりが『内容一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【お互いの性のあり方を考える】や【祖母と木蓮】に設定されている。
日科	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマごとのユニットに分けられた教材の一覧が『さまざまなテーマから考えを深めよう』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【わたしたちの郷土】や【人はなぜ仕事をするのか】に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【ぼくらの村の未来】に、第2学年では【私のせいじゃない】に、第3学年では【その子の世界、私の世界】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【二人の言い分】に、第2学年では【お菓子、どうする?】に、第3学年では【変わりゆく地球】に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【なんだろうなんだろう「正義」って、なんだろう。】に、第2学年では【なんだろうなんだろう「ゆるす」って、なんだろう。】に、第3学年では【なんだろうなんだろう「自立」って、なんだろう。】に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【学びを深めよう 三人の乗客】に、第2学年では【学びを深めよう マークはなんのために?】に、第3学年では【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【クローズアップ 知ることから始めよう～人数から見える世界～】に、第2学年では【クローズアップ 多様な性と私たち】に、第3学年では【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。
あか図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【島耕作ある朝の出来事】に、第2学年では【迷惑とは何ぞ】に、第3学年では【ベビーカー論争】に設定されている。
日科	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が、第1学年では【試してみよう 宿題】に、第2学年では【ウォーミングアップ 野菜売り場】に、第3学年では【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【自分の学びをふり返ろう】に、各教材に自分が感じたことや考えたことをメモする学習活動が【つぶやき】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が【道徳科の学びを振り返ろう】に、1年間学んできたことを振り返る学習活動が【「よりよく生きる」って、どういうことだろう?】に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】に、学習したことを次の学びや日常生活の中で生かすためにどうすればいいか考える学習活動が【つなげよう】に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【道徳科で学んだことを振り返ってみよう】に、道徳ノートに教材の学びを自分に関わりのあることとして考えることができたかを振り返る学習活動が【自分への振り返り】に設定されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを通して、未来の自分にメッセージを書くことや心に残った言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】に、日々の授業で、気付いたことを書き留める学習活動が【メモ】に設定されている。
あか図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【学習の記録】に、1年間の学びを振り返り、成長したことを書き記す学習活動が【1年間の学習の記録】に設定されている。
日科	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【古今東西「愛」放談】に、教材を読んで、自分の思ったことを書き記す学習活動が【memo】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『風評被害』に、第2学年では『私のせいじゃない』に、第3学年では『いじめから目をそむけない』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『二人の言い分』に、第2学年では『最優秀』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。
光村	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『「いじり」って』に、第3学年では『三年目の「ごめんね」』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。
学研	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『クラスメイト』に、第2学年では『ソムチャイの笑顔』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。
あか図	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『魚の涙』に、第2学年では『消えない落書き』に、第3学年では『君たちはどう考え、どう生きるか』に掲載されている。
日科	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつも一緒に』に、第2学年では『「生きづらさ」と向き合う』に、第3学年では『彼と私のありがとう』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルと友達との関わりについて扱った内容が、第1学年では『SNSに友達の悪口を書く』に、第2学年では『「いいね」のために』に、第3学年では『合格通知』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルや個人の権利等について考える内容が、第1学年では『ルールとマナー』に、第2学年では『本当の友達って』に、第3学年では『自分の思い・相手の思い』に掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が、第1学年では『わかり合うために』に、第2学年では『見えない誰かと』に、第3学年では『インターネットの中の社会で』に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『情報社会とコミュニケーション』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『いじめのない社会へ』に掲載されている。
学研	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『うわさで決めるの?』に、第2学年では『つい言い過ぎて』に、第3学年では『アップロード ダウンロード』に掲載されている。
あか図	[たくましく生きる力]の「情報化」について、SNSの使い方と他者との関わりについて扱った内容が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いつでも・どこでも・SNS』に、第3学年では『ピヨ子』に掲載されている。
日科	[たくましく生きる力]の「情報化」について、SNSの使い方を多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では『情報の光と闇 ～ファクトチェック～』に、第2学年では『言葉の向こうに』に、第3学年では『SNSでの誹謗中傷』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつものバイオリン】に、第2学年では【6千人の命のピザ】に、第3学年では【自分を変える力-桃田賢斗】に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【私に宇宙のプレゼント】に、第2学年では【「よりよく生きる」って、どういうことだろう?】に、第3学年では【カーテンの向こう】に設定されている。
光村	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【撮れなかった一枚の写真】に、第2学年では【遠く離れた人に会いたい】に、第3学年では【足袋の季節】に設定されている。
日文	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつものバイオリン】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【生きてこそ-石井筆子の生涯-】に設定されている。
学研	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いっぱい生きる 全盲の中学校教師】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【二人の弟子】に設定されている。
あか図	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【銀色のシャープペンシル】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【君たちはどう考え、どう生きるか】に設定されている。
日科	[社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【仁子、あきらめない!】に、第2学年では【いつかは言いたい二度目のごめん】に、第3学年では【くちなしの花と、南十字星が指した道 ～花田ミキ～】に設定されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、自分の経験をもとに考え、グループで話し合い、学習を振り返る学びの流れが『学習の流れ』に掲載されている。また、各教材末に主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【ぐっと深める】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、問題に気づき、考え、話し合い、自分の生活に生かしていくという学習の流れが『さあ、道徳を始めよう!』に掲載されている。また、各教材の冒頭に主題に関する発問があり、教材末には主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、友達と話し合い、学んだことと自分の生き方を結びつける学習の流れが『道徳の学習を始めよう』に掲載されている。また、主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【つなげよう】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、議論し、学んだことと自分の生き方を見つめる学習の流れが『どうやって学ぶの?』に掲載されている。また、主題に関する発問から考える学習活動が【考えてみよう】に設定されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、道徳科で学ぶことや考えを深める段階が『考えを深める4つのステップ』に掲載されている。また、主題に関する発問から考える学習活動が【考えよう】に設定されている。
あか図	主体的・対話的で深い学びについて、自分を見つめて、異なる見方で考え、生き方を考える授業の流れが『道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間』に掲載されている。また、教材を読んで自分を見つめる学習活動が【自分を見つめて考える】に設定されている。
日科	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、違う考えや意見も認め学んでいく授業の流れが『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』に掲載されている。また、主題に関する発問を読んで、考え、自分を振り返る学習活動が【深めよう】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ぼくらの村の未来』に、家庭科と関連した教材が『一冊のノート』に、保健体育科と関連した教材が『決断! 骨髄バンク移植第一号』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『難民とともに〜緒方貞子〜』に、音楽科と関連した教材が『最優秀』に、理科と関連した教材が『変わりゆく地球』に掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『レタス博士』に、美術科と関連した教材が『サグラダ・ファミリア受け継がれていく思い』に、数学科と関連した教材が『スカイツリーにかけた夢』に掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『本とペンで世界を変えよう』に、音楽科と関連した教材が『いつものバイオリン』に、美術科と関連した教材が『マークは何のために?』に掲載されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips細胞を求めて 山中伸弥』に、保健体育科と関連した教材が『真の国際人 嘉納治五郎』に、社会科と関連した教材が『領民を愛した名君 上杉鷹山』に掲載されている。
あか図	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ドナー』に、社会科と関連した教材が『あふれる愛—マザー・テレサ』に、音楽科と関連した教材が『夜のくだもの屋』に掲載されている。
日科	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『気候変動で私たちができること』に、保健体育科と関連した教材が『全日本柔道チーム TOKYO2020の挑戦』に、国語科と関連した教材が『茶道の心に学ぶ』に掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、自らが問いを立て、対話し、学びを振り返る学習活動が、第1学年では【思いやりの日々】に、第2学年では【みんなでとんだ!】に、第3学年では【好きな仕事が安定かなやんでいる】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、教材を読み、考えたことを友達と話し合い、自己を振り返る学習活動が、第1学年では【おはよう】に、第2学年では【留学で考えさせられたお金】に、第3学年では【父のひと言】に設定されている。
光村	言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が、第1学年では【自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう】に、第2学年では【インターネットの利用を振り返ろう】に、3学年では【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、気付き、考え、議論して、自分を見つめる授業の流れを知る学習活動が、第1学年では【ミニ教材で考えてみよう 難しい宿題】に、第2学年では【ミニ教材で考えてみよう 成功と失敗】に、第3学年では【ミニ教材で考えてみよう ある和菓子店】に設定されている。
学研	言語能力の育成について、教材を読んで見つけたこと、考えたことをもとに話し合う学習活動が、第1学年では【深めよう 人々の心に響いたものは】に、第2学年では【深めよう 「いざというとき」を考える】に、第3学年では【深めよう 限られた命について考えよう】に設定されている。
あか図	言語能力の育成について、話し合いの際の視点を整理して話し合う学習活動が、第1学年では【マイ・プラス いじめについて話し合ってみよう】に、第2学年では【マイ・プラス 意見の対立について話し合ってみよう】に、第3学年では【マイ・プラス 白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。
日科	言語能力の育成について、自分の考えをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が、第1学年では【オレは最強だ!】に、第2学年では【ナイスジャンプ】に、第3学年では【領民を幸福にすることこそ】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な文化に関する内容として、第1学年では和菓子が『古都の雅、菓子之心』に、第2学年では和食が『和食のこころ』に、第3学年では花火や灯ろう流しが『花火と灯ろう流し』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では落語が『“庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生涯～』に、第2学年では狂言が『狂言師・野村萬斎物語』に、第3学年では盆栽が『世界に誇る「BONSAI」』に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年ではねぶた祭が『夢を諦めない』に、第2学年ではしょうゆ造りが『木桶仕込みのしょうゆを伝える』に、第3学年では障子あかりが『障子あかり』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では沖縄の文化が『「肝心」のパスガイド』に、第2学年ではふるしが『包む』に、第3学年では江戸切子が『使い手を驚かせて魅了する』に掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では狂言や落語が『日本の心と技』に、第2学年では文化財の再建が『金閣再建 黄金天井に挑む』に、第3学年ではねぶたが『ねぶたを夢見て』に掲載されている。
あか図	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年ではアニメやお祭りが『日本探しの旅』に、第2学年では相馬野馬追が『相馬野馬追の季節』に、第3学年では姫路城の再建が『運命の木ー姫路城の大柱』に掲載されている。
日科	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では囲炉裏が『分け火』に、第2学年では錦帯橋の再建が『脈々と受け継がれる錦帯橋』に、第3学年では琵琶の修復が『筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、宿泊活動での体験から安全な生活を考える学習活動が【山に来る資格がない】に、第2学年では、アンガーマネジメントの方法を、その場面を想定して考える学習活動が【怒りの感情との付き合い方】に、第3学年では、互いの意見を認め合う学習活動が【おたがいの「ちがいがい」を認め合おう】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、目が不自由な方への接し方を考える学習活動が【不自然な独り言】に、第2学年では、周りの人たちからの影響を考える学習活動が【まるごと好きです】に、第3学年では、友だちのよいところを見つける取組を通して、コミュニケーションの仕方を考える学習活動が【信頼関係を築こう】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、第1学年では、ボランティア活動を通して社会との関わりについて考える学習活動が【初めてのボランティア】に、第2学年では、アンガーマネジメントについて考える学習活動が【感情をマネジメントしてみよう】に、第3学年では、経験してきたことをもとに、よりよい学校生活を過ごすために多面的・多角的に考える学習活動が【私たちの合唱祭】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第1学年では、電車での出来事を複数の立場から考える学習活動が【三人の乗客】に、第2学年では、挨拶の意味について考える学習活動が【挨拶は言葉のスキシップ】に、第3学年では、信号機のない横断歩道について実態調査を用いて、多面的・多角的に考える学習活動が【キラー・ゼブラと呼ばれて】に設定されている。
学研	体験活動の充実について、第1学年では、掃除や働くことの意味を考える学習活動が【掃除の神様が教えてくれたこと】に、第2学年では、家族への思いを手紙に書く学習活動が【家族に思いを伝えていますか】に、第3学年では、目標を達成するために必要なことを書き、自分の将来について考える学習活動が【夢の地図を書いてみよう】に設定されている。
あか図	体験活動の充実について、第1学年では、自分の生活習慣を見直す学習活動が【あなたの生活習慣は？】に、第2学年では、職場体験を通して働くことの意味を考える学習活動が【加奈子の職場体験】に、第3学年では、挨拶にはどのような思いが込められ、なぜ社会生活で大切なのかを考える学習活動が【挨拶から礼儀を考えよう】に設定されている。
日科	体験活動の充実について、第1学年では、複数の立場から電車での出来事を考える学習活動が【席を譲ってはいけないのですか】に、第2学年では、挨拶の意味を考える学習活動が【あいさつの意味】に、第3学年では、自分の経験をもとにウェルビーイングについて考える学習活動が【「わたしたち」としてウェルビーイングをつくりあう】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『橋の上のおおかみ』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『「看護する」仕事』に、第2学年では『宇宙人』に、第3学年では『たんぼぼ作業所』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『金のおの』その後』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『「どうせ無理」をなくしたい』に、第2学年では『五回斬られた男・福本清三』に、第3学年では『昨日より今日、今日よりも明日』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『手品師』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『私が働く理由』に、第2学年では『スカイツリーにかけた夢』に、第3学年では『働く姿から見えるのは？』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科での学びを始めよう！』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『サッカーの漫画を描きたい』に、第2学年では『行動する建築家 坂 茂』に、第3学年では『相撲を世界に』に掲載されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科で学ぶこと 考えること』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『認められたグラフ』に、第2学年では『蹴り続けたボール』に、第3学年では『「血の通った義足」を作りたい』に掲載されている。
あか図	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方や考えの例が『一年生のあなたへ』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『初めての体験-山中伸弥』に、第2学年では『イチロー選手のグループ』に、第3学年では『小浜のさば缶、宇宙へ行く』に掲載されている。
日科	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方の例が『クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『中央市場は働いている』に、第2学年では『私たちのキャリアプランニング』に、第3学年では『人はなぜ仕事をするのか』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報機器活用のルールやマナーについて考える学習活動が、第1学年では【情報機器の使い方を考えよう】に、第2学年では【ゴール】に、第3学年では【スマホに夢中！】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、情報機器を使用する際のルールやマナーについて考える学習活動が、第1学年では【ソーシャルメディアのルールとマナー】に、第2学年では【SNSとどう付き合う？】に、第3学年では【歩きスマホをどうするか】に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、スマートフォンやSNSの使い方について考える学習活動が、第1学年では【使いすぎて、どうということ？】に、第2学年では【夢中になるのは悪いこと？】に、第3学年では【インターネットの中の社会で】に掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、インターネットでの著作権や使い方について考える学習活動が、第1学年では【使っても大丈夫？】に、第2学年では【視野を広げて 情報の受信と発信】に、第3学年では【視野を広げて AIと情報社会】に設定されている。
学研	情報活用能力の育成について、SNSやスマートフォンの使い方について考える学習活動が、第1学年では【日曜日の朝に】に、第2学年では【熊本地震 被災地支援 SNSが威力】に、第3学年で【〇〇流デジタルライフ】に設定されている。
あか図	情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が、第1学年では【ライオンが逃げた】に、第2学年では【ほどほどライン】に、第3学年では【リアルとネットの不思議】に設定されている。
日科	情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が、第1学年では【情報の光と闇 ～ファクトチェック～】に、第2学年では【言葉の向こうに】に、第3学年では【Flower Bus Stop】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や絵で表された内容が、第1学年では『いじめに当たるのはどれだろう』に、第2学年では『あの子のランドセル』に、第3学年では『私の好きなもの』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が、第1学年では『二人の言い分』に、第2学年では『心のアンテナ』に、第3学年では『歩きスマホをどうするか』に掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『気づかなかったこと』に、第3学年では『アイツとオレ』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、登場人物の写真やイラストが、第1学年では『“村人B”には……』に、第2学年では『他人の靴を履いてみる』に、第3学年では『違うんだよ、健司』に掲載されている。
学研	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画やイラストで表された内容が、第1学年では『らしさって何だろう』に、第2学年では『コスモスR計画』に、第3学年では『電車の中で』に掲載されている。
あか図	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が、第1学年では『おかしな礼儀』に、第2学年では『ミスター・スードルー安藤百福』に、第3学年では『挨拶のちから』に掲載されている。
日科	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が、第1学年では『誰のためにするのだろうか』に、第2学年では『「用具係」、動かか』に、第3学年では『問題を解決するために必要なこと』に掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【新しいプライド】に、第2学年では【「できない」には価値があるー吉藤オリイ】に、第3学年では【忘れられる権利】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【ともだち】に、第2学年では【まるごと好きです】に、第3学年では【もう一つの時間】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年で【いつもの教室の中で】に、第2学年では【段ボールベッドへの思い】に、第3学年では【自然災害と向き合う】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【葉っぱ切り絵で見た道】に、第2学年では【上勝から世界を変える】に、第3学年では【失った笑顔を取り戻す】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学研	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【岩泉を守る】に、第2学年では【OriHimeがつなぐ世界】に、第3学年では【白川郷に魅せられて】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
あか図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【語りかける目】に、第2学年では【イチロー選手のグローブ】に、第3学年では【千年先のふるさとへー宮城県女川町】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日科	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【稲村さんの苦悩】に、第2学年では【夢桜 ～荻野吟子～】に、第3学年では【稲村さんの苦悩】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	
東書	「考える道徳」につながる内容構成について、自分の気持ちを心情円を用いて表現する学習活動が【左手でつかんだ音楽】に設定されている。また、自分の考えを深める内容が『考えようをぐっと深める』に掲載されている。
教出	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『命の尊さについて考えよう』に掲載されている。
光村	「考える道徳」につながる内容構成について、別の立場から考えることや授業で学んだことをつなげる学習活動が【見方を変えて】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『自然災害と向き合う』に掲載されている。
日文	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【自分にプラスワン】に設定されている。また、登場人物の関係を整理して、考える内容が『学びを深めるヒント』に掲載されている。
学研	「考える道徳」につながる内容構成について、教材と出会い、考え、話し合い、自分の生き方につなげる学習活動が【深めよう】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『クローズアップ』に掲載されている。
あか図	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【自分を見つめて考える】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『Thinking 弱者をつくらない社会』に掲載されている。
日科	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【考えよう】に設定されている。また、自分の考えを表す際の内容が『「ウェルビーイングカード」を使ってみよう』に掲載されている。

⑪ 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
東書	「議論する道徳」につながる内容構成について、互いに相手のことを認めるためにどうすればよいかを考える学習活動が、第1学年では【出会いはアードroidと不気味の谷】に、第2学年では【注文をまちがえる料理店】に、第3学年では【外国から来た転校生】に設定されている。
教出	「議論する道徳」につながる内容構成について、登場人物の気持ちや立場など異なる視点に立って多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【「ちがひ」について考えよう】に、第2学年では【分身ロボットでかえたいこと】に、第3学年では【二通の手紙】に設定されている。
光村	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に違いについて考える学習活動が、第1学年では【リフレミングをしてみよう】に、第2学年では【テニス部の危機】に、第3学年では【あつてはならない違い】に設定されている。
日文	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる視点や立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が、第1学年では【あったほうがいい?】に、第2学年では【美しい鳥取砂丘】に、第3学年では【臓器提供】に設定されている。
学研	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が、第1学年では【公平とは何だろう】に、第2学年では【ごみ収集場所をどこに】に、第3学年では【礼儀って】に設定されている。
あか図	「議論する道徳」につながる内容構成について、意見が違う他者と対立を乗り越えて問題を解決していく学習活動が、第1学年では【礼儀について考えてみよう】に、第2学年では【意見の対立について話し合ってみよう】に、第3学年では【夢へのステップについて考えよう】に設定されている。
日科	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場からの意見を尊重し、違いを認め合うことについて考える学習活動が、第1学年では【稲村さんの苦悩】に、第2学年では【二通の手紙】に、第3学年では【放っておけばいい ～淳の住む町～】に設定されている。
⑫ 発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	道徳的行為に関する体験的な学習について、内容の一場面を劇で演じる学習活動が、第1学年では【お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう】に、第2学年では【「一冊のノート」の場面をやってみよう】に、第3学年では【缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう】に設定されている。
教出	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を演技して考える学習活動が、第1学年では【裏庭でのできごと】に、第2学年では【地下鉄で】に、第3学年では【校長先生の模擬面接】に設定されている。
光村	道徳的行為に関する体験的な学習について、場面を想定し役割演技をして、考える学習活動が、第1学年では【裏庭での出来事】に、第2学年では【ジコチュウ】に、第3学年では【三年目の「ごめんね」】に設定されている。
日文	道徳的行為に関する体験的な学習について、ペアやグループで演じて感じたことを伝え合う学習活動が、第1学年では【「愛情貯金」をはじめませんか】に、第2学年では【他人の靴を履いてみる】に、第3学年では【電車の中で】に設定されている。
学研	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の立場になって考える学習活動が、第1学年では【あなたが健二だったらどうするだろう】に、第2学年では【登場人物を自由に演じてみよう】に、第3学年では【異なる意見と出合ったときのことを考えよう】に設定されている。
あか図	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の気持ちを考える学習活動が、第1学年では【車内の場面を実際にやってみよう】に、第2学年では【二人のすれ違いについて考えてみよう】に、第3学年では【白鳥さんのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。
日科	道徳的行為に関する体験的な学習について、主人公の気持ちをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が、第1学年では【傘の下】に、第2学年では【ナイスジャンプ】に、第3学年では【彼と私のありがと】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑮ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
教出	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
光村	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
日文	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
学研	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
あか図	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
日科	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
⑯ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はB 5判が採用されている。
光村	判型はB 5変型判が採用されている。
日文	判型はB 5判が採用されている。
学研	判型はA B判が採用されている。
あか図	判型はB 5判が採用されている。
日科	判型はA B判が採用されている。
⑰ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルに配慮しています。』と表記されている。
光村	『本文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学研	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
あか図	『教科書の本文などには、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育に関して、専門家による校閲を行っています。』と表記されている。
日科	『ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。』『多くの人が使いやすいように、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやレイアウトなどに配慮して作成しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第2学年 44ページ 49ページ 66ページ 107ページ 125ページ 第3学年 138ページ	『六千人の命のピザ』ユダヤ人たちの国外脱出経路に横浜の記載（横浜市） 『外交官、杉原千畝と六千人の命のピザ』杉原千畝のお墓の写真と鎌倉市の記載（鎌倉市） 『日本のお祭り』相模の大風まつり（相模原市） 『キラリ仕事人ーかがやいている人、見つけた』京浜急行と鉄道運転士の写真（神奈川県） 『住みよい社会に』横浜市戸塚区の団地の記載（横浜市） 『缶コーヒー』（神奈川県道徳授業研究会編）
教出	第1学年 127ページ 第2学年 170ページ	『富士山を守っていくために』「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」葛飾北斎（神奈川県） 『復旧にとどまらず、復興を〜後藤新平〜』横浜の記載（横浜市）
光村	第1学年 13ページ 115ページ 116ページ 179ページ 第3学年 104ページ 105ページ	『父の言葉』湯河原温泉の記載（湯河原町） 『ごみのない地域を目ざして』清掃職員の仕事（座間市） 『ごみのない地域を目ざして』座間市クリーンセンターの職員とパッカー車の写真（座間市） 『日本の郷土玩具』箱根寄木細工（箱根町） 『障子あかり』筆者の家の写真（鎌倉市） 『障子あかり』横浜ベイブリッジの写真（横浜市）
日文	第2学年 179ページ	『受け継ぐかたち・思い・地域のよさ』二宮尊徳（小田原市）
学研	第1学年 32ページ 33ページ 第2学年 42ページ 88ページ 92ページ 167ページ 171ページ 175ページ 第3学年 22ページ 23ページ 122ページ	『エルトゥールル号の遭難』横浜の港の絵（横浜市） 『エルトゥールル号の遭難』横浜港の記載（横浜市） 『ヨコスカネイビーパーカー』神奈川県立横須賀高校の学生についての記載（横須賀市） 『三人の誓い 大山捨松』横浜港の記載（横浜市） 『クローズアップ 捨松の生きた時代』捨松の旅路で横浜の記載（横浜市） 『クローズアップ 海を守る魚付き林』真鶴半島の写真（真鶴町） 『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』葛飾北斎（神奈川県） 『OriHime さまざまな施設で活躍』神奈川県の二か所の宿泊療養施設の記載（神奈川県） 『余命ゼロ 命のメッセージ』横浜港の記載（横浜市） 『余命ゼロ 命のメッセージ』横浜の記載（横浜市） 『ルリボンカミキリの青』丹沢山系の記載（神奈川県北西部）
あか図	第1学年 65ページ 第3学年 183ページ	『ライオンが逃げた』神奈川県の記載（神奈川県） 『ふるさとに学びを広げよう』「いのち輝く神奈川県 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現」の記載（神奈川県）
日科	第1学年 88ページ 154ページ 第3学年 36ページ 55ページ	『天地と共に』二宮尊徳（小田原市） 『わたしたちの郷土』三苦 薫（川崎市） 『自分のこの目で確かめたい』ペリー率いる黒船が浦賀に来航の記載（横須賀市） 『五つの誓い』神奈川からの記載（神奈川県）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	1年	1年別冊	2年	2年別冊	3年	3年別冊
東書	3	376		390		388	
教出	3	376		362		360	
光村	3	342		356		356	
日文	6	294	84	308	84	316	84
学研	3	360		368		376	
あか図	3	324		324		322	
日科	3	322		328		334	